

**～新型コロナウイルスのワクチン普及進展などを受け 2020年の推計値及び
2021年の世界経済の見通しを上方修正、世界経済の成長は 2021年下半期に加速の見込み～**

◆ **概要**

IMF（国際通貨基金）は1月26日に発表した世界経済見通しで、2021年の世界全体の実質GDP（国内総生産）成長率見通しを5.5%とし、2020年10月に示した数値から0.3%上方修正しました。2020年の推計値については-3.5%と0.9%の上方修正としました。

その背景として、2020年については、昨年10月の世界経済見通し以降に公表された各地域の経済指標に予想を上回る回復の勢いが見られたことなどを反映したとしました。

また、2021年については、新型コロナウイルスのワクチンが複数承認され、一部の国では昨年12月にワクチンの接種が始まりパンデミックが収束に向かうとの期待が高まったことを挙げ、この新型コロナウイルスワクチン普及の後押しを得て、世界経済の成長は下半期に景気回復が加速するという期待と、日本と米国をはじめとした主要国における追加的な政策支援による下支えを反映したものとしました。

しかしながら、新型コロナウイルスの変異種を含め、2020年末に見られた感染の再拡大や、ロックダウンの再開、ワクチンの流通に関する問題、ワクチン接種率をめぐる不確実性など懸念が残る点についても言及し、景気回復の力強さには各国間で大きなばらつきが出ると予測しています。

◆ **IMF 世界経済見通し 2021年1月時点**

	2020年 推計値	前回比	IMF見通し			
			2021年	前回比	2022年	前回比
世界	-3.5%	0.9%	5.5%	0.3%	4.2%	0.0%
先進国	-4.9%	0.9%	4.3%	0.4%	3.1%	0.2%
米国	-3.4%	0.9%	5.1%	2.0%	2.5%	-0.4%
日本	-5.1%	0.2%	3.1%	0.8%	2.4%	0.7%
ユーロ圏	-7.2%	1.0%	4.2%	-1.0%	3.6%	0.5%
新興国	-2.4%	0.8%	6.3%	0.3%	5.0%	-0.1%
中国	2.3%	0.5%	8.1%	-0.1%	5.6%	-0.2%

（出所）IMF のデータをもとにJP投信株式会社作成

※前回比は2020年10月時点の見通しからの修正幅、小数第二位を四捨五入した数値

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。